

とっとりインターネットシッヅWebシステム要件定義

目次

1 全体

- 1-1 システム開発の背景
- 1-2 システムの目的
- 1-3 システムの全体像
 - 1-3-1 ホームページ全体
 - 1-3-2 学生マイページ
 - 1-3-3 法人マイページ
 - 1-3-4 管理画面

2 システム要件

- 2-1 機能要求
- 2-2 システムセキュリティ
- 2-3 保守・拡張性
- 2-4 その他

1 全体

とっとりインターンシップ推進事業は、鳥取県内の産官学が主催するインターンシップ(学生が企業で実習等を行うもの)であり、このインターンシップを通じて、専門的なスキルや知識、学生の就業観を身につけることを目的としています。

あわせて、県内企業の魅力や自己の特徴を理解することで、学生の地元定着につなげていく狙いもあります。

この事業に、多くの企業・団体の皆様にご賛同いただき、おかげさまで令和2年夏には、約160社、令和3年春には、約130社の企業団体の皆様に受入登録を頂き、年間延べ約350名の学生が参加しました。今後も、いろいろな業種・業界の企業団体の皆様にご協力を頂きながら、できるだけ多くの学生に参加していただき、鳥取の企業の魅力を知っていただきたいと考えています。

今回のシステム開発にあたっては、システム開発を委託する企業様に、この事業にご賛同いただき、システム開発以外の部分も含めて、とっとりインターンシップの推進にいろいろなご意見やご提案のいただきながら、システムの開発に反映させたいと考えています。

1-1 システム開発の背景

現行のシステムは、エントリーを Web 化することにより、参加学生の利便性を図る目的で開発された。その後、助成金請求の機能や誓約書の発行、参加意思の最終意思確認など、システムの利用者の利便性向上のための変更を行ってきた。

これまで“インターンシップ”は就業体験が必要なものとして、1日～5日の短期から1ヵ月以上の長期に渡るまで様々な実習を行ってきた。

しかしこの度、1日だけの実習は、“インターンシップ”という呼称を使わないこととなり、“ワンデー仕事研究”として分けて扱われることとなった。また、インターンシップへの外国人留学生の参加を促すため、外国語(英語)表記に切り替え可能なホームページを作っていく必要がある。

この他の細かな変更事項も踏まえ、今後のとっとりインターンシップWebシステムの効果的な活用を考え、新しいシステムの開発を行いたい。

1-2 システムの目的

このシステムを活用することにより、より多くの学生に、とっとりインターンシップに参加してもらい、鳥取の企業・団体を体験、知る機会を増やすことを目的としている。

- ①参加学生が見やすく、使いやすく、またその活動を支援できるシステムであること。
- ②インターンシップを受け入れる企業・団体が、利用しやすいシステムであること。
- ③管理者(とっとりインターンシップ事業を県から受託する団体を指す。)及び参加教育機関が、学生、企業・団体とのコーディネートや支援をしやすいシステムであること。

1-3 システムの全体像

上記の目的を達成するため、このシステムでは主に以下のもので構成されて運用することを想

定している。また、外国人留学生の参加・閲覧にも対応できるように、できる範囲でページの英語表記を行っていきたい。

- (1)とっとりインターンシップホームページ
- (2)学生マイページ
- (3)法人マイページ
- (4)管理画面(閲覧者:管理者、参加教育機関、県)

※以下、この章でアルファベット記号がついているものは、別紙「とっとりインターンシップ実施の流れ」に掲載したアルファベット記号と一致するものを指す。

1-3-1 ホームページ全体

ホームページにより、学生、受入企業などに、イベントやインターンシップの情報を発信しているが、さらに、幅広く情報提供していくため、デザイン的に見やすく、かつ発信・管理しやすいページ作成を考えたい。

トップページ等

- ・参加学生の募集、エントリー締切などの案内
- ・インターンシップの活動状況の紹介(実習風景画像、参加学生の声、受入企業の声など)
- ・インターンシップ実施の要綱や手続きに必要な書類等の公開・ダウンロード
- ・インターンシップの登録企業や実習内容の検索・閲覧

学生向けページ

- ・学生マイページへのログイン ……a
- ・学生向けの情報提供
- ・学生向けイベントの紹介や参加申込
- ・インターンシップの登録企業や実習内容の検索・閲覧

企業向けページ

- ・法人マイページへのログイン ……j
- ・登録企業への情報提供
- ・企業向けイベントの紹介や参加申込

問い合わせページ

- ・学生からの問合せ
- ・企業等からの問合せ

コーディネーターチームによるホームページの修正、編集機能

- ・お知らせの掲載など情報提供の編集
- ・関係書類の差し替え
- ・活動画像等の差し替え

・その他、情報の編集機能

1-3-2 学生マイページ

インターンシップに参加する学生が企業へのエントリー、誓約書の提出、助成金の申請等を行うことができるマイページを設ける。学生からのアクセスは、スマートフォンやタブレット、パソコンなど機種やOSを限定しないことが望ましい。

【主な機能】

- ①個人情報(プロフィール)の登録(メールアドレス、ログイン名、パスワード、氏名) ……a
- ②実習希望先へのエントリー申請 ……b
 - ・実習先の検索(有償型・無償型・ワンデー仕事研究、実習日数、実習時期、リモート・対面、外国人留学生の受入れ可否)を含む)
- ③マッチング結果の表示 ……c
- ④実施計画書の確認・ダウンロード ……d
- ⑤実習先への最終参加意思表示 ……e
- ⑥誓約書の提出 ……f
- ⑦インターンシップ参加後の助成金の申請 ……g
 - ・旅費、宿泊費、通勤費、リモート通信費の申請画面(金額入力のうえ領収書等を添付)
- ⑧実習評価表の閲覧・表示・確認・ダウンロード ……h
- ⑨事後アンケート回答(URLリンク) ……i

1-3-3 法人マイページ

参加学生を受け入れる企業・団体が実施プログラムの登録、実施計画書の提示等を行うことができるマイページを設ける。法人からのアクセスは、パソコンからのアクセスを想定しているが機種やOSを限定しないことが望ましい。

【主な機能】

- ①法人情報(プロフィール)の登録(メールアドレス、ログイン名、パスワード、氏名) ……j
- ②実習プログラムの登録申請 ……k
- ③学生からのエントリーシートの確認 ……l
- ④マッチング結果の表示 ……m
- ⑤実施計画書(詳細なプログラム内容)の作成・提示 ……n
- ⑥学生からの最終参加意思の表示・確認 ……o
- ⑦誓約書の確認・ダウンロード ……p
- ⑧実習評価表の作成(入力)・提出 ……q

1-3-4 管理画面

コーディネーターチームが、学生や企業に係るあらゆる進捗管理、運営、手続き等を可能にする

ための画面を設ける。

【主な機能】

- ①個人情報や法人情報の確認、修正、編集、承認 ……r
- ②法人から提出される実習プログラムの確認、修正、編集、承認、公開 ……s
- ③学生から提出されるエントリーシートの確認、修正、編集、承認 ……t
- ④受入企業へのエントリーシートの先行開示 ……u
- ⑤マッチング確定企業へエントリーシートの開示 ……v
- ⑥学生と法人とのマッチング結果の入力・通知 ……w
- ⑦法人から提出される実施計画書の確認、修正、編集、承認 ……x
- ⑧学生の最終参加意思表示の表示・確認 ……y
- ⑨学生から提出される誓約書の確認、修正、編集、承認 ……z
- ⑩学生から申請される助成金の確認、修正、編集、承認 ……A
- ⑪法人から提出のあった実習評価表の・表示・確認・ダウンロード、修正、編集、承認 ……B
- ⑫学生へのアンケート回答依頼(URLリンクの設置) ……C
- ⑬学生のエントリーから実習参加・終了までの進捗管理 ……D

(参加希望数、希望順位、エントリーシートの詳細、エントリーシートの状態(進捗)

マッチングの状態(進捗)、実施計画書の詳細、実施計画書の状態(進捗)

最終参加意思の確認状況、誓約の確認、実習開始日、実習日数)

※一覧の表示については、年区分(夏季:4月～9月、春季:10月～3月)ごとに表示。

1-3-4の2 参加教育機関からのアクセス

参加教育機関(県内4大学等)にも、管理画面へのアクセスを一部認める。

- ①自校に関する資料の閲覧
- ②自校の学生のエントリーシートの差し戻し(編集は不可)
- ③自校の学生のエントリーから実習参加・終了までの進捗管理

2 システム要件

2-1 機能要求

- (1)「1-3 システムの全体像」で示した機能が利用できること。ただし、利用者の利便性向上を目的として、機能追加や別機能への変更などの提案をしてもよい。
- (2)産官学で定めた様々な規程文書(とっとりインターンシップ実施要綱等)に沿ってインターンシップが実施されるため、当該システムもこれらのために逸脱しないこと。また、内閣府、文部科学省などの関係機関からの通達や指導等から逸脱したものにならないこと。

2-2 システムセキュリティ

ウイルス対策、不正アクセス・改ざん防止、個人情報の流出保護などのセキュリティ対策を十分

に施したシステムとすること。

また、システムの利用者が、本システムを利用する際、利用機器に制限を設けないこと(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)。但し、OSやバージョンなどにより対応できない機器が発生する場合は、その機器名、OS、バージョンを明示すること。

2-3 保守・拡張性

現在、イベントの募集案内や参加申込受付をホームページから行っている。開催前の準備段階から、トップページにバナー等を掲示し、参加申込フォームに誘導している。運営保守では、これらの案内更新と終了後の取下げ(非公開)作業を保守業者で行っている。

このため、簡便な内容であれば、その都度、掲載の依頼や取下げの依頼をしなくとも、管理者側で、案内更新や取下げ作業ができるような機能があるとよい。

2-4 その他

予算や納期を考慮した上で、どうしても摘み残してしまう内容が出てくる場合、これらにどう対応するかを提案をいただきたい。設計開発側の立場から、優先して実施するものを絞り、最終的に完了するための提案がいただきたい。